

資料 2

令和4年度効果検証対象事業の選定方法について

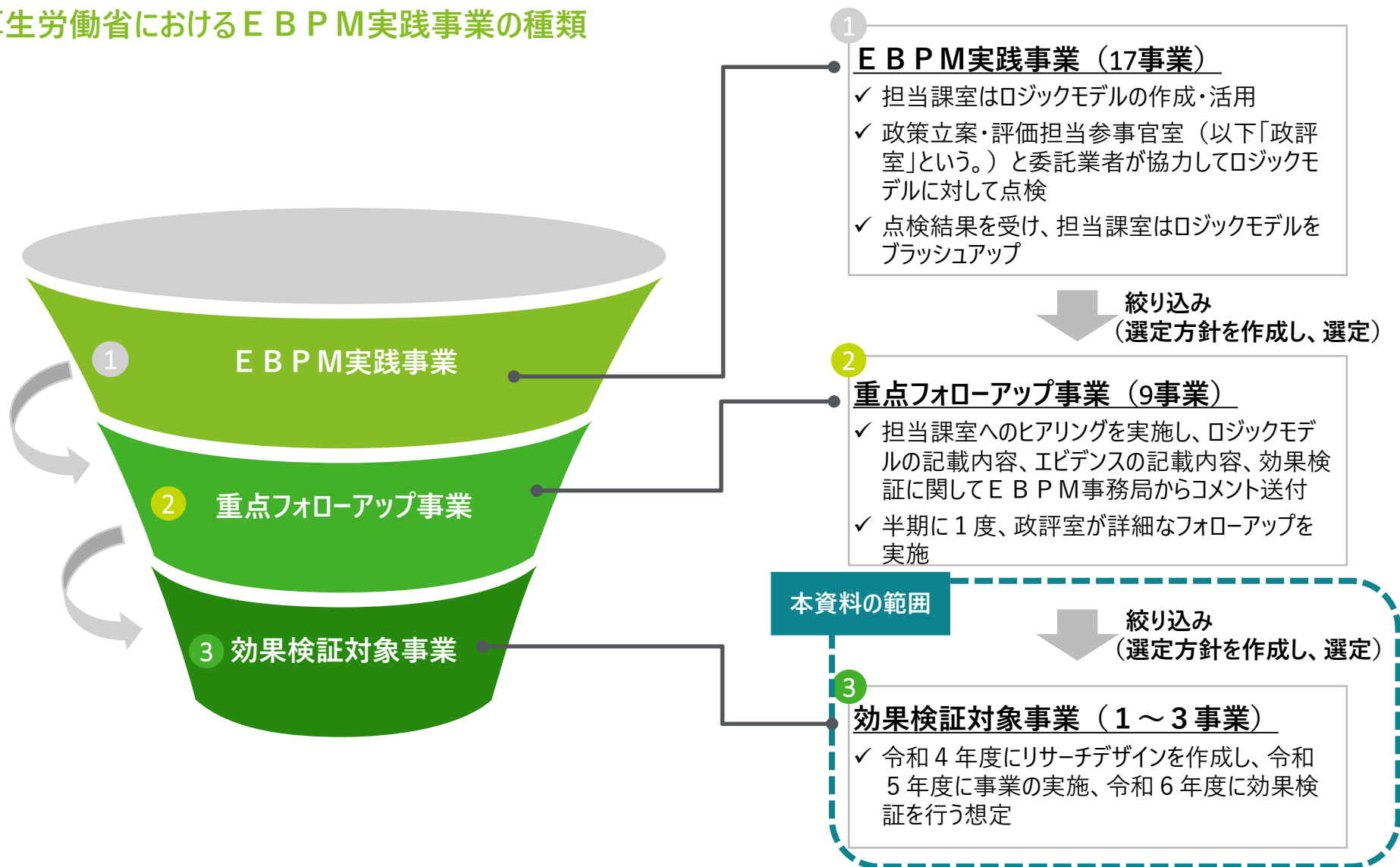
2022年12月7日

目次

1. 厚生労働省におけるE B P M実践事業の種類	p.3
2. 令和4年度効果検証対象事業の位置付け	p.4
3. 令和4年度効果検証対象事業の選定方針における観点	p.5
4. 令和4年度効果検証対象事業候補の一覧	p.7

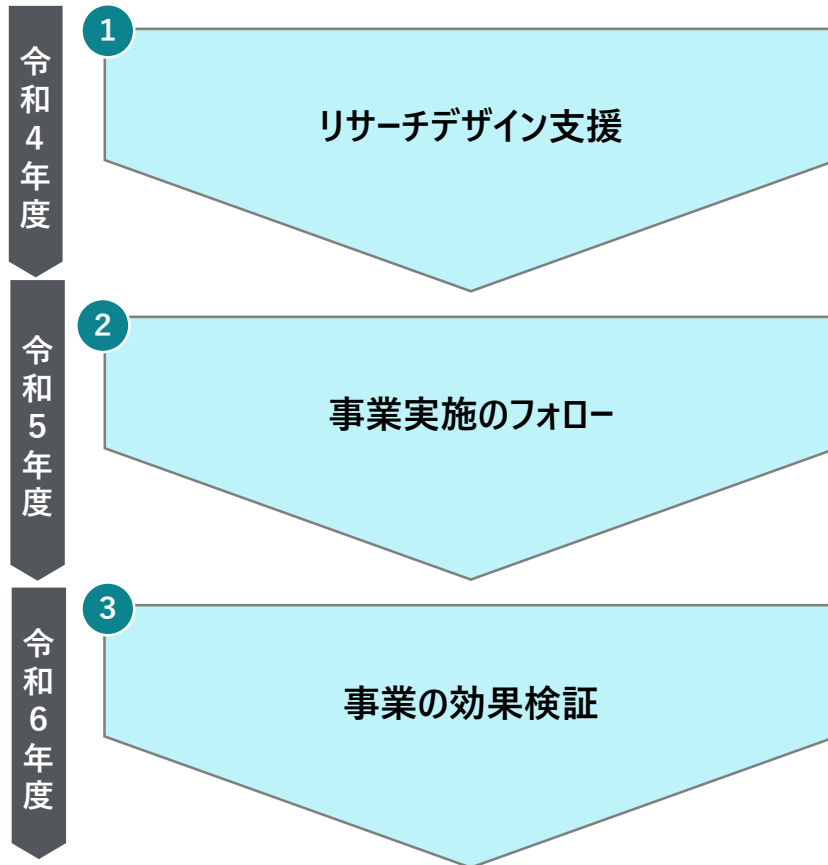
令和4年度効果検証対象事業については、選定方針を作成し、重点フォローアップ事業から対象事業を選定する

厚生労働省におけるEBPM実践事業の種類



令和4年度効果検証対象事業は、令和4年度にリサーチデザイン支援、令和5年度に事業実施のフォロー、令和6年度に効果検証を実施する

令和4年度効果検証対象事業の位置付け



※令和5年度中に効果検証が可能な事業については、令和5年度に効果検証を実施し、令和6年度に事業改善方法の検討や結果の取りまとめを行うことも可能

項目		実施内容
1	リサーチデザイン支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ 担当部局へのヒアリング・協議 ■ データ取得方法の設計・支援 ■ 分析手法の整理・提案 等
2	事業実施のフォロー	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業実施中の相談対応 ■ データ取得方法の各種サポート 等
3	事業の効果検証	<ul style="list-style-type: none"> ■ 効果検証の実施 ■ 事業の改善方法の検討 ■ 結果取りまとめ 等

効果検証対象事業は、① 検証の費用対効果の観点、② 実行可能性の観点、③ 事業バランスの観点から総合的に評価し、重点フォローアップ事業の中から選定することを選定方針とする

効果検証対象事業の選定方針における観点

検証の費用対効果の観点

今後の業務負担や事業の継続性等に照らして、検証の費用対効果が相対的に高いか？



検証の
費用対効果の観点

実行可能性の観点

効果検証の実施や検証結果の公開が可能か？



実行可能性の
観点

事業バランスの観点

事業バランスの観点

政策分野や事業類型のバランスが取れているか？



各観点における具体的な選定基準は以下のとおり

各観点における具体的な選定基準



検証の費用対効果の観点	実行可能性の観点	事業バランスの観点
<ul style="list-style-type: none">■ 分析結果が事業の改善改良に寄与するか。■ 省内の他領域にも参照される事業特性を有しているか。■ 今後の業務負担や事業の継続性はどうか。（会計課意見）■ 事業内容が教科書的事例であったり、データの活用や政策の重要性について特筆すべきものがあるか。	<ul style="list-style-type: none">■ 公的統計や事業で取得する情報など、分析に必要なデータが利用可能か。■ エビデンスレベルの高い分析手法を活用できるか。■ データの共有や分析結果の公開に大きな障壁がないか。■ 令和5年度又は令和6年度中に有益な分析が可能か。	<ul style="list-style-type: none">■ 政策分野のバランス（労働領域と厚生領域のバランスなど）が取れているか。■ 新規事業やモデル事業などの事業類型のバランスが取れているか。

令和4年度の効果検証対象事業候補は、重点フォローアップ事業の9事業である

令和4年度効果検証対象事業候補の一覧

部局	担当課室	事業名
健康局	がん・疾病対策課	免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援モデル事業
医薬・生活衛生局	監視指導・麻薬対策課	麻薬等対策推進費（広報経費）
医薬・生活衛生局	食品基準審査課	健康食品の安全性の確保等事業
労働基準局	賃金課	最低賃金引上げに向けた中小企業・小規模事業者支援事業
子ども家庭局	家庭福祉課母子家庭等自立支援室	D V・女性保護対策等支援事業（仮称）
社会・援護局	地域福祉課生活困窮者自立支援室	就労体験・訓練先の開拓・マッチング事業
障害保健福祉部	障害福祉課	地域の連携による就労アセスメント支援の実践に関するモデル事業
保険局	医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室	特定健康診査・保健指導に必要な経費
人材開発統括官	若年者・キャリア形成支援担当参事官室	新卒者等に対する支援